

としょかん つか
図書館を使った

しら がくしゅう
調べる学習コンクール

しら がくしゅう
調べる学習の

すす かた
進め方



©図書館振興財団

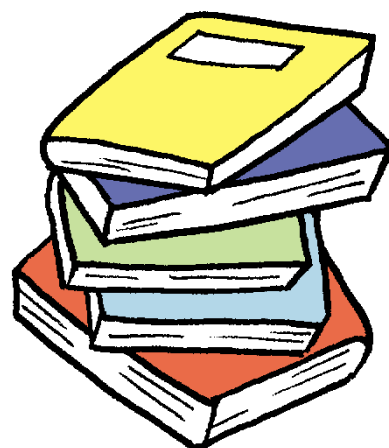
シッタカ

しら がくしゅう 調べる学習のステップ

① しら ほうほう かんが
調べる方法を考える

② しら きろく
調べて記録しよう

③ さくひん
作品にまとめよう



ステップ① ^{しら}調べる方法^{ほうほう}を^{かんが}考える

^{としょかん}図書館で^{しら}調べる以外^{いがい}にも、いろいろな^{しら}調べ方^{かた}があります。

^{じぶん}自分が^し知りたいことを^{しら}調べるには、どんな^{ほうほう}方法があるのか、

^{かんが}考えてみましょう。

インターネットで^{しら}調べる

…まちがった^{じょうほう}情報も

あるので^{おとな}大人の^{ひと}人と

^{しら}調べましょう。



^{かんさつ}観察する・^{じっけん}実験する

…^{じぶん}自分の^{よそう}予想と

くらべてみましょう。

^{ひと}くわしい人にインタビュー

してみる

…^き聞きに^い行く^{まえ}前に、

どんなことを^{もん}しつ問

したいかを^{かんが}考えて

おきましょう。

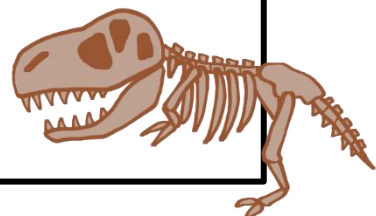


^{はくぶつかん}博物館や^{りょうかん}資料館^いに行く

…^{ほんもの}本物や^{ほんもの}本物そっくり

に^{つく}作られたものを^み見る

ことができます。



いろいろな^{ほうほう}方法で^{たし}確かめると、^{じぶん}自分が^し知りたいことだけでなく、

^{あた}たら^{はっけん}新しい発見もあるかもしれません。

ステップ② ^{しら}調べて^{きろく}記録しよう

^{しら}調べてわかったことやどうやって^{しら}調べたのかをノートに^か書いたり、
^{きろく}記録カードを^{つく}作ってみましょう。

^{さいご}最後に^{じぶん}自分が^{しら}調べたことをまとめるときに、とても^{やく}役に立ちます。

◎ノートや^{きろく}記録カードに^か書いておくこと

- ・いつ^{しら}調べたか（〇月〇日）※^{かんさつ}観察するときは^{じかん}時間・^{てんき}天気も^か書いておく
- ・調べたときに^{つか}使った本の^{ほん}タイトルや^か書いた人の^{ひと}名前^{なまえ}
- ・わかったこと・^き気づいたこと
- ・調べ^{しら}に行った^い場所^{ばしょ}の^{なまえ}名前

記録カードの^{つく}作り方

調べたいこと	
わかったこと	^{しら} 調べた日：〇月〇日 ^ひ ^{がつ} ^{にち}
^{つか} 使った資料（本） ^{しりょう} ^{ほん}	^{ほん} 本の名前： ^{なまえ} ^か 書いてあったページ：

◎こんな^{きろく}記録の^{ほうほう}方法もあります

- ・イラストを^{かいて}かいて^{きろく}記録する 
- ・^{しゃしん}写真をとっておく （^{ほか}他の人^{ひと}や^{ほか}他の人^{ひと}の^{もの}物^{とき}をとる時は、
^{かなら}必ず^{ひと}その人^{しゃしん}に^き写真をとって^きいいかを聞きましょう。）

ステップ③ さくひん 作品にまとめよう

【ほうほう どんな方法でまとめる？】

○ノートやレポート用紙ようしを使う

ひょうし 表紙や もくじ 目次をつけて、ほん 本のようにまとめることができます。

○大きな紙おお（もぞう紙・がよう紙など）を使う

1枚で調べたことをたくさん書くことができます。

ポスターや「○○新聞」などを作ることができます。

⚠ B4 サイズまでか八つ切りサイズで作品を作ってください。

おお（大きさはうちのひとといっしょにかくにんしてください）

【か 書いていく じゅんばん 順番】

最初さいしょ	① しら 調べようと思っおもたきっかけ ② しら 調べる前まえに考かんがえたこと（予想よそうしたこと） ③ しら 調べた方法ほうほう
次つぎ	④ しら 調べてわかったこと
終わりおわり	⑤ よそう 予想とちがうところはありましたか？ ⑥ しら 調べた後あとの感想かんそう
完成かんせい	⑦ しら 調べるときに使つかった本ほんなどを最後さいごのページに書かきましょう。 （「参考文献さんこうぶん」といいます） ⑧ ひょうし 表紙に書かくタイトルを決きめる ⑨ もくじ 目次を作つくる（※本ほんのように作品さくひんを作つくる人ひとだけです） ⑩ おうぼカードを作品さくひんにはる

【すてきな作品^{さくひん}をつく^{つく}するには】

- ・イラストをかいたり写真^{しゃしん}をはる
- ・地図^{ちず}やグラフ^かを書いてみる
- （文章^{ぶんしょう}で書くと長^{なが}くなったり、わかりづらい時^{とき}に使^{つか}ってみましょう）
- ・自分^{じぶん}が一番伝えたいところに線^{せん}を引いたり、色^{いろ}を変えて強^{きょう}調^{ちょう}させる。

【作品^{さくひん}を作るときに注意^{ちゅうい}すること】

- 本^{ほん}の中^{なか}の文^{ぶん}章^{しょう}をそのまま書^かくときは「
つけましょう。
書^かいた人^{ひと}の文^{ぶん}章^{しょう}をそのまま写^{うつ}して、自分^{じぶん}が考^{かん}えたように書^かいては
いけません。
- 「
書^かいたのかがわかるように「本^{ほん}の名^な前^{まえ}」「ペー^じ」などをかならず
最^{さい}後^ごに書^かきましょう。

保護者の方へ

※ 調べるときに使った本など（参考文献）の書き方は、公益財団法人図書館振興財団のホームページ <https://concours.toshokan.or.jp/> の「応募要項」「参考文献リストの書き方」を御覧ください。「参考引用文献リスト用紙」をダウンロードすることができます。

「調べる学習の進め方（中学年）」作成時に参考にした資料

- ・『調べるって、おもしろい！マンガでわかる小学生の調べる学習ガイド』（岩崎書店）
公益財団法人図書館振興財団・監修、岩崎書店編集部・編著
- ※この資料は甲西図書館で所蔵しています（夏休み期間は館内閲覧のみ）